

高圧洗浄機でため水を吸い上げてご使用方法（自吸方法）

自吸の事前準備の仕方

1 高圧ホースの取りはずし

（高圧ホースをすでに取り付けている場合）

重要

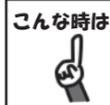
※ 6「呼び水」作業までは、高圧ホースを外しておかないと、絶対に吸い上げません。



2 本体側カップリングの取りはずし

高圧洗浄機の給水口に取り付けている本体側カップリングを外してください。

※ 工具などではずさないでください。



こんな時は 本体側カップリングがどうしても取りはずせない時は、市販の家庭用ゴム手袋をはめて取り外してみてください。それでもはずせない時は、傷をつけないように（ご不要の）布などでおおい、ペンチやプライヤーなどの工具ではさみ、時計と逆回りに慎重に回してください。



3 フィルターボトルの取り付け

フィルターボトルのねじ側を高圧洗浄機の給水口に取り付けます。



4 自吸用ホースの取り付け

自吸用ホースに取り付けている水道ホース側カップリング凹型をフィルターボトルの本体側カップリング凸型に接続します。

※ 「カチッ」と音がしたあとも、すきまがなくなるまでねじ込んでください。



5 ストレーナーの準備

ストレーナーをため水の中に入れます。ストレーナー全体が完全に水の中に入っている状態にしてください。

※ 水の中でストレーナーを振って振動を与え、ストレーナー内の空気を出してください。（ストレーナーに空気がたまっていると水が入っていかず、自吸できないことがあります。）



お届けしている自吸用ホースの色が白や透明の事がありますが性能に違いはありません。

重要

ストレーナーの位置と、高圧洗浄機本体の高低差は80センチ以内で使用してください。

自吸用ホースの最高位置とストレーナーの高低差も80センチ以内です。ため水を入れる容器は、高さ80センチ以下の物をご使用ください。

※ 高圧洗浄機よりもストレーナーが上にある場合は高低差は関係ありません。



自吸のための別売り付属品「自吸セット(HKP-JSET)」を全て取り付けた状態です。

お届けしている自吸用ホースの色が白や透明の事がありますが性能に違いはありません。



6 「呼び水」作業

重要

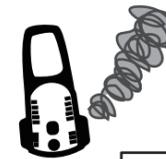
高圧ホースをはずした状態でスイッチをONにしモーターを動かします。

本体の高圧ホースの取付け口から水が出てきます。最初は本体内に残っていた水や空気が出るので安定しませんが、数秒間待つと水の出が安定してきます。

水の出が安定してから10秒ほどそのまま出し続けます。

スイッチをOFFにします。

※ スイッチをONにして10秒経っても水が出てこなかったら、いったんスイッチをOFFにし、しばらくしてから再度行ってください。



水を吸い上げていない状態で、モーターを動かすと「空まわし」になりポンプ部やモーターの故障の原因になります。



こんな時は もうすっかり、スイッチをONしてから水が出始めるまで20秒以上かかってしまった場合は、内部が熱をもってしまっている状態ですので、いったん水道蛇口からの接続に切り替えて、本体内に水を通し内部を冷やしてください。（水道蛇口に接続できない時は30分ほどおき内部を冷やしてください。）その後、再度上記「呼び水」作業をしてください。



※ 使用途中でため水が少なくなり、ストレーナーから空気を吸ってしまった場合も再度この「呼び水」作業をして下さい。

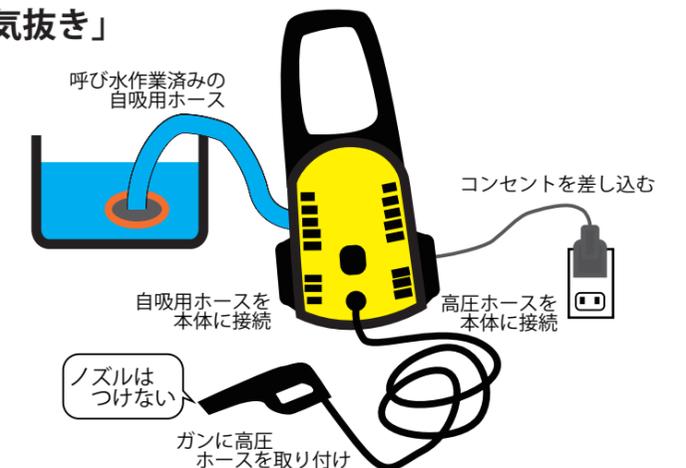
7 高圧ホースとガンの取り付けと「空気抜き」

高圧洗浄機に高圧ホースとガンを取り付け、スイッチをONにし、「空気抜き」をします。

「空気抜き」とは・・・

右記イラストの状態まで準備をしてください。その後、スイッチをONにし、ガンを握ります。最初は高圧ホース内の空気が出るため圧が安定しませんが、空気が抜けると安定します。水が安定して出続けるまでガンを握り続けてください。

その後、ノズルを取り付けご使用ください。



吸い上げない時は「ミニ知識&吸い上げない時の対処法 編」をご覧ください。